

2021年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
建築法規特論											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	杉山 英知			実務経験	有	職種	建築設計 一級建築士				
担当教員紹介											
設計事務所を主宰し、住宅や飲食店、工場など多岐にわたる設計監理行う。また、大学院博士後期課程に所属し、研究活動も行っている。企業研修なども担当しており、複数の企業にて建築法規、建築設計の講師を務めている。											
授業概要											
この授業では、テキストを中心に各項目ごとに段階的に進める。要点を理解させ問題を交えて理解度を高めていく。特に法令集になれることと、反復練習が重要となる。											
到達目標											
この科目の到達目標は、2級建築士学科試験レベルの知識を付けることである。法令集を適切に引けるようになり、ある程度、法令集を引かなくても問題が解けるようになることが重要である。2級建築士学科試験の中で「建築法規」は法令集を持込可能なため、満点が望める科目である。最終的には学科試験合格はもちろんのこと、後期の設計課題にも使える下地となっていることが到達目標である。											
授業方法											
・基本操作を学ぶ回では、教員が解説を行い、学生は解説と同じように作業を行う ・解説と作業を繰り返し行い、スキルを身に着ける ・応用回では、今まで身に着けたスキルを用いて、各自モデリングを行う ・動画等を用いて、最新技術の紹介を行う											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業で使用するデータは各自USBメモリやクラウドなどによって適切に管理すること。説明中や授業と関係のない私語、受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。課題提出はデータにより行い、コピーなどによる不正な提出データはカンニング扱いとし採点されない。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位取得することができない。											
教科書教材											
教科書、問題集、法令集、必要に応じてプリントを配布											
回数	授業計画										
第1回	用語の定義, 確認申請・建築手続 ガイダンスおよび用語の定義を理解する										
第2回	確認申請・建築手続 確認申請および手続き、完了検査・中間検査などの流れを理解する										
第3回	面積・高さの算定 面積の算定方法、建物の高さのとりえ方を理解する										
第4回	一般構造 採光計算、換気計算、階段寸法を理解する										
第5回	耐火・防火、防火地域・準防火地域 耐火および防火の技術基準を学び特殊建築や区画・避難経路について理解する										

2021年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
建築法規特論	
第6回	避難施設等 避難施設の安全と構造を理解する
第7回	内装制限 要点を理解したうえで、各項目の問題を集中的に解き理解する
第8回	構造計算・構造強度 加重戸が威力や構造の種類を理解する
第9回	敷地等と道路 道路の定義、道路と敷地の関係を理解する
第10回	用途地域 用途地域の種類と規制を理解する
第11回	建坪率、容積率 建坪率と容積率の算定を理解する
第12回	高さ制限 用途地域における道路斜線、隣地斜線、北側斜線を理解する
第13回	日影規制、雑則 日影規制の算定方法を理解する
第14回	関連法令 1 建築士法、バリアフリー法、耐震改修、などを理解する
第15回	関連法令 2 住宅品確法や都市計画、消防法、建設業法、宅建、景観法、民法などを理解する